

JKB 関西ニュービジネス協議会 女性輝き部会第12回例会(イブニング会) 開催報告

11月10日(火)に開催されましたJKB第12回例会のご報告を致します。

当日はゲストと4名の参加者との内輪的で和やか、活気ある楽しい勉強会になりました。

ゲストスピーカーとして株式会社ジェイセレクション 代表取締役 松田寿美子氏をお迎えしました。

女子学生不要論などがまだ根強い時代、当時はまだ確立されていなかった業種だったアパレルの世界へ飛び込み、マーケティング部長にまで上り詰められたキャリアをお持ちです。後進育成へも力を注がれた後に退職。その後、バッグを主とした小物の企画・製造・販売を手掛ける会社を起業された非常にパワフルな女性経営者です。

起業前、1か月ほど滞在したアメリカでは、当時「禅」スタイルが流行していたとのこと。ライフスタイルとして自然に定着していた「日本」を目の当たりにし、出会った人たちは日本人以上に日本を語れるという現実を知り、そこで改めて日本人のスタイルに対するこだわりの無さに課題意識を持ったとのこと、そして、それこそが伝統工芸を前衛的にあしらったバッグブランド「Sumiko (Culture × Connection)」誕生のきっかけとなりました。

今回の幹事であります桑山が特に感銘を受けたのは、ブランドを立ち上げた動機です。

大阪は袋物文化発祥の地と言われ、皮革製品の製造がもともと盛んでした。しかし、海外ブランドへの若いユーザーの価値観シフトや安い海外生産ものの流入など様々な要因が重なり、地場産業の衰退が加速していると言います。また、全国には優れた伝統工芸が多くあるものの、後継者問題などにより、文化伝承危機に瀕しているものもあります。

単なる和テイストとはワケが違う。こだわりたいのは「Made in Japan」。

伝統工芸で埋もれている素晴らしい資材は国内に沢山ある。その価値を掘り起し、新しいものへ。

地場産業の発展や伝統継承につなげたいという松田さんの思いに強い感銘を受けました。



伝統と前衛、東洋と西洋、相反するものの融合
長い伝月の中で完成された、
日本の伝統織物をタテ糸に
21世紀の新しい感性をヨコ糸に織り込んだ
モダンでキュートな「新しい日本の美」をクリエイ
キャリアと高い技術を持つ職人さんの
真面目に丁寧に創るという
「モノ創りのこころ」と「日本を愛するこころ」が
使う人のこころに響く
少量生産、特別感がキラリと光る
「Made in Japan」です。

